

平成29年11月6日(月曜)長崎新聞

矯正と外科手術で治療

受け口の治療

回答者



六反田 賢

長崎市飽の浦町
重工記念長崎病院
腔外科部長

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒8552-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

【問い合わせ】高校生の娘の下顎が曲がって受け口になっています。小学生の頃から気になっていましたが、最近目立つようになり、かみ合わせも悪いようです。治療は可能でしょうか。(長崎市、42歳女性)



骨の形や位置関係を修正します。手術は全身麻酔で行い、入院が必要になります。手術後にも最終的なかみ合わせの調整を行い、この段階を術後矯正といいます。

【答え】「顎がゆがんでいる」「受け口である」あるいは「かみ合わせがうまくできない」などの状態は「顎変形症」

といわれ、矯正治療と口腔外科手術を組み合わせた顎矯正治療を受けることができます。この顎矯正治療を受けるためには「顎機能検査」という検査を受けて、一般的な矯正治療だけでは良好なかみ合わせを得るのが困難であることを確認する必要があります。顎矯正治療の適応と診断されれば、健康保険の適用となります。治療の流れは、まず矯正治療で上顎と下顎の歯をそれぞれに矯正して歯列を整えます。この段階を術前矯正といいます。術前矯正治療が終了した段階で手術を行い、顎の

小学生の頃から異常に感じていたとのことです。成長期に即した矯正治療により骨の成長を誘導することが可能な場合もあります。ただしこの治療の場合は健康保険の適用外となります。かみ合わせに異常があると、一部の歯だけに咬合力がかかりたり、ブラッシングがしくくかつたりして、むし歯や歯周病をはじめとするトラブルが発生しやすくなりますが、気になることは何でも、かかりつけの歯科医院で相談してください。